

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。

さっぽろ 市議団ニュース

<第2回定例会>

2015年7月13日

No. 136

日本共産党札幌市議団 事務局

tel 211-3221/fax 218-5124

観光バスの路上駐車改善を一臨時の待機場もうけ、時間延長もすすめる

坂本きょう子議員が質問

日本共産党の坂本きょう子議員は9日、観光バス路上駐車対策事業について質問しました。坂本議員は、海外からの観光客は、2014年度上期で前年比28.1%増の59万9千人と上期の過去最高で、「中心市街地に乗り入れる観光バスが増加し、南8西2のバス待機場が18時までのため、夕食後、ホテルまで観光客を送迎するバスが路肩で待機している。待機場の夜間延長を検討すべき」と求めました。

大島観光コンベンション部長は、「夜9時頃までの利用を望む声が多く、北海道バス協会と協議しこの夏から夜9時までの利用延長を試行したい」と答えました。

坂本議員はまた、待機場が足りず、市役所前などアイドリングしたまま停車し排ガスによる苦情もあるとのべ、「新たな待機場の設置や迷惑停車を抑制する対策を講じるべき、たばこのポイ捨てなど観光客のマナーについても啓発する取り組みが必要」と求めました。

大島部長は、「バス待機場の不足を補うため、夏場の間、北1条西9丁目に観光バス10台程度の臨時の待機場を設置する予定」とのべ、「アイドリングストップや迷惑駐車については、乗降場に看板を設置し、巡回指導や観光バス事業者への通知」を行うとし、吸い殻のポイ捨てなどは「マナー啓発用冊子」を作り、ホテルへの配布、旅行前に一読できるよう海外の旅行会社に配布するなど工夫したいとのべました。

若者の就職支援—委託業者に丸投げでなく、責任もった支援を

池田由美議員が質問

日本共産党の池田由美議員は9日、若年層職場定着支援事業（入社3年以内の若手社員とその指導にあたる企業の人材育成担当者を対象に、講演会や研修を行い定着を支援）について質問しました。

池田議員は、この事業について「今回の補正で487万円、今年で8年目になるが若者がどのように定着しているのか、企業の定着に向けた取り組みは変わったのか」とただしました。

花田雇用推進部長は、「定着状況についての調査は行ってこなかった」とのべ、今回、調査を予定しており「本市が実施してきた若者の就職支援事業について、その定着状況や企業にもアンケート調査を行う」と答えました。

池田議員は、調査してこなかったことに「7年間、委託した企業にただ丸投げしてきたといわれても仕方がないのではないかと指摘。「若者が早期にやめる原因をどう認識しているのか」「非正規が若者の半分に達し、低賃金、長時間労働など働くルールが壊されていることが原因になっているのではないかと」「非正規の若者もこの事業の対象にすべき」とただしました。

花田部長は、厚労省の調査では、やめる理由の上位が、労働時間、休日、休暇の条件などとし、離職について「時々の雇用状況や経財状況が影響している」「非正規でも参加しやすい（事業）にする」とのべました。